

【編集後記】

日本は長引く不況とデフレ、そのなかでリーマンショックや東日本大震災が発生するなど経済危機が続きました。それに対し、この1年はアベノミクス（Abenomics）で日本経済が上向いたことは事実でしょう。マネーサプライで期待インフレが生じ実質金利の低下、やがて増大する需要としての設備投資、同時にデフレ脱却のための賃上げ、それらの結果として持続的成長をはかるといふ構図だと思います。しかし、新しい需要を創出するイノベーションや価格競争力を生むブランド力の体現はうまく進んでいません。それゆえ、これらの基盤となる感性（心）や教育が豊かであることの重要性が改めて真剣に議論されようとしています。それは従来の議論と異なり、少子高齢化、グローバル化、情報化など日本が抱える課題に対応したものでなければなりません。この大学院は心理臨床学と教育学の専攻を持つことから、研究紀要では、まさにそうした論点に繋がるような意欲的かつ挑戦的な研究論文を求めています。

本巻には、今春退任されます成清美治教授と森川直教授の論文を含め6編の論文が掲載されています。お二人の先生方には大学院生に熱意ある研究指導をしていただきましたこと、ここに深謝するとともに心より御礼を申し上げます（丸山総一郎）。

編集委員長：丸山総一郎

編集委員：笹川洋子・森川 直・吉野俊彦

表紙のデザインについて

うす緑の落ち着いた色調を背景に紺の帯に白抜きの神戸親和女子大学大学院研究紀要の横文字を配し、多くの研究を表す縦の緑の直線が未来に向けて伸びる構成となっている。このような色調と構図はさわやかさ・聡明さ・厳肅さ、大学院をベースとした発展と意気込みを象徴している。

神戸親和女子大学大学院研究紀要 第10巻

平成26年3月31日発行

編集者 神戸親和女子大学大学院研究紀要編集委員会

発行人 大学院研究科長 三木 四郎

住所 〒651-1111 兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1

神戸親和女子大学大学院合同研究室 078-591-1743

印刷 サンキ印刷株式会社 06-6453-6541